【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【公表番号】特表2013-504348(P2013-504348A)
【公表日】平成25年2月7日(2013.2.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-007
【出願番号】特願2012-528345(P2012-528345)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　1/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　1/00　３３３Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月30日(2013.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
バッグ２は、液状製剤を保存する。排出口３は、バッグ２の第１の末端２．１に位置し、薬剤容器１用のハウジング５に固定される。バッグ２の第２の末端２．２の近くに、薬剤容器１は硬質のコア６を含み、それはバッグ２の変形部材４が位置する側とは反対側の外面に位置し、バッグ２に堅く取り付けられる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液状製剤用の薬剤容器（１）であって、排出口（３）、及び形状記憶合金から成り、その形状記憶合金が相転移によって第１の相から第２の相に変化するときに変形可能なバッグ（２）を変形し、それによって変形部材（４）の形状を変え、そして薬剤の投与量を、排出口（３）を通してバッグ（２）から絞り出す、少なくとも１つの変形部材（４）を備えた変形可能なバッグ（２）を含み、数個の連続した変形部材（４）によって特徴付けられる、薬剤容器（１）。
【請求項２】
変形部材（４）の温度を変えて、その形状記憶合金の相転移を起こさせるための温度調節手段によって特徴付けられる、請求項１に記載の薬剤容器（１）。
【請求項３】
温度調節手段が、各変形部材４を電源に接続するための電気的接続（７）を含むことを特徴とする、請求項２に記載の薬剤容器（１）。
【請求項４】
形状記憶合金が磁性形状記憶合金であることを特徴とする、請求項１に記載の薬剤容器（１）。
【請求項５】
磁性形状記憶合金の相転移を起こさせる磁場を発生させるための少なくとも１つの磁場発生器によって特徴付けられる、請求項４に記載の薬剤容器（１）。

【請求項６】
少なくとも１つの変形部材（４）が、少なくともバッグ（２）の縦伸び部分にわたって伸びることを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）。
【請求項７】
少なくとも１つの変形部材（４）がバッグ（２）の外面に位置することを特徴とする、請求項１～６のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）。
【請求項８】
少なくとも１つの変形部材（４）が、その形状記憶合金の第１の相で真っ直ぐに伸び、そしてその形状記憶合金の第２の相で螺旋状に巻き上げられることを特徴とする、請求項６又は７に記載の薬剤容器（１）。
【請求項９】
少なくとも１つの変形部材（４）が、その形状記憶合金の第２の相で螺旋状に周囲に巻き上げられるコア（６）によって特徴付けられる、請求項８に記載の薬剤容器（１）。
【請求項１０】
少なくとも１つの変形部材（４）が、バッグ（２）の周囲に螺旋のままで伸び、その螺旋の半径は、形状記憶合金の第１の相におけるよりも第２の相においてより小さいことを特徴とする、請求項６～９のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）。
【請求項１１】
螺旋の軸上に伸びるコア（６）によって特徴付けられる、請求項１０記載の薬剤容器（１）。
【請求項１２】
連続した変形部材（４）の形状記憶合金の相転移を互いに独立に起こさせる温度調節手段又は少なくとも１つの磁場発生器によって特徴付けられる、請求項１～１１のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）を含む液状製剤を送達するための、注射装置（Ｉ）。
【請求項１４】
患者の皮膚に刺し刺すためのバルブ及び中空針（８）が、排出口（３）に配置されることを特徴とする、請求項１３記載の注射装置（Ｉ）。
【請求項１５】
請求項１～１２のいずれか１項に記載の薬剤容器（１）を含む、液状製剤を送達するための吸入装置。